

2019年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや

1 事業活動方針

任意団体としての活動を引き継ぎ、全国の範となるよう、地域教育を推進させる。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 自然体験活動に関する事業

ア 海事業（事業名称：「海 LOVE かまくら」）

- ・内 容 海という鎌倉ならではの自然環境を存分に生かした、様々な体験を実施する。Save Our Shore（神奈川県海水浴場組合連合会）・鎌倉アウトリガークラブ・鎌倉ライフガードに協力いただきながら事業を展開する。
- ・日 時 ①4月28日 ②7月20日 （全2回）
- ・場 所 材木座海岸
- ・従事者人員 32人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども41人 大人37人 合計78人
- ・支 出 295,224円

イ 鎌倉めぐり事業（事業名称：「鎌倉めぐり」）

- ・内 容 鎌倉博士・大貫昭彦先生と鎌倉の自然・史跡を歩きめぐることによって、今まで気づくことのできなかつた新たな鎌倉を発見する。子ども・大学生・保護者の3つの世代がともに歩くことにより、新たな関係性の構築を目指す。
- ・日 時 ①7月13日 ②12月14日 （全2回）
- ・場 所 鎌倉市内
- ・従事者人員 32人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども14人 大人7人 合計21人
- ・支 出 100,085円

② 芸術創作活動に関する事業

ア 陶芸教室事業（事業名称：「土と遊ぼう」）

- ・内 容 講師の河村喜史先生のもと、子ども・親・学生の三世代がともに作陶にはげむ。3回を通して一事業とする。最初の2時間が陶芸、残りの1時間は、子どもは学生と遊び、保護者は懇親会を行う。陶芸を通じて、1回目で「できた」、2回目で「つかんだ」、3回目で「やりぬいた」というような感動体験を得てもらえる場を作る。
- ・日 時 52期：①5月18日 ②6月9日 ③7月14日
53期：①9月8日 ②11月10日
54期：①12月15日 （全6回）
- ・場 所 講師の河村喜史先生宅（鎌倉市山崎）
- ・従事者人員 60人（学生・大人スタッフ合計）

- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：77人 大人：30人 合計：107人
- ・支出 596,264円

イ 朗読教室事業（事業名称：「みんなで朗読」）

- ・内容 良い文章を耳で聞き、声を出して読む事を通して、朗読の楽しさを体感する。また、日本語の美しさに対する感性や想像力、読解力を培う。朗読で扱った文学作品の解説を聞き、名作のもつ世界観を味わう。
- ・日時 ①5月26日 ②6月23日 ③7月28日 ④9月29日 ⑤10月27日
⑥11月17日 ⑦12月22日 ⑧1月26日 ⑨2月16日（全9回）
- ・場所 円覚寺塔頭、浄智寺、鎌倉福祉センター、信徒会館、てらハウス、玉縄学習センター
- ・従事者人員 157人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：138人 大人：118人 合計256人
- ・支出 404,519円

② 広報啓発に関する事業

ア 建長寺合宿事業

- ・内容 建長寺で大学生とお寺の生活を共にする三泊四日の合宿。心の底から楽しみながら、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことから、「当たり前のこと」を一所懸命、本気でやる大切さとその喜びを体感する。
- ・日時 8月8日～11日
- ・場所 臨済宗 大本山 建長寺
- ・従事者人員 168人（学生：131人・OBOG：27名・大人スタッフ：10人）
- ・対象者 小学校2年生～中学校3年生および保護者
子ども：99人 大人：98人 合計：197人
- ・支出 2,735,343円

イ 妙本寺合宿事業

- ・内容 妙本寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。学童保育施設に遊びに来ている子どもたちを主な対象として、お寺ならではの生活体験とともに、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、日常の生活では体験できない、心の底からの楽しみを経験する。
- ・日時 8月27日～28日
- ・場所 日蓮宗 比企谷 霊跡本山 妙本寺
- ・従事者人員 118人（学生：106人・大人：12人）
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：64人 大人：98人 合計：162人
- ・支出 851,222円

ウ 光明寺合宿事業

- ・内容 光明寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。お寺ならではの生活体験とともに、海に近いというロケーションを活用して、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、心の底からの楽しみを経験する。そうした経験から、当たり前のことを一所懸命やる大切

- ・日 時 さとその喜びを体感する。
11月30日～12月1日
- ・場 所 浄土宗 大本山 光明寺
- ・従事者人員 76人（学生：68人・大人：8人）
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：38人 大人：42人 合計：80人
- ・支 出 1,101,245円

エ 子どもの居場所づくり事業（事業名称：「休日てらハウス」「平日てらハウス」）

- ・内 容 子ども・学生・保護者がてらハウスに集まり、“本気”で遊び、話し合い、学びあう。そうして過ごす時間から、子ども自身が「やりたい！」と思うことを発見し、学生・保護者の力添えを得ながら、やりたいことを自らの力で実現できるようになることを目指す。
2012年度からは、平日の「てらハウス」の開放も開始している。
- ・日 時 2019年4月～2019年3月（コロナウイルスの影響で3月は活動自粛）
①休日てらハウス：原則毎週土曜日 10：00～16：00（全43回）
②平日てらハウス：原則月～金曜日 15：00～18：00（全190回）
- ・場 所 鎌倉市大船1-25-23 千里ビル3F
- ・従事者人員 ①331人（学生：286人・大人スタッフ：45人）
②992人（学生：732人・大人スタッフ：260人）
- ・対象者 小学1年～中学3年生、高校生
① 子ども：432人 ②子ども：928人
- ・支 出 ①1,079,930円 ②2,511,360円

オ 広報活動・報告書作成事業（事業名称：「鎌倉てらこや広報活動」）

- ・内 容 「鎌倉てらこや」の実際の活動及び理念を多くの人々に理解してもらうために、「鎌倉朝日」に記事を連載、「鎌倉てらこや」HP・Facebook運営等を実施。多くの人々にてらこや活動へと参加してもらう足がかりを作る。寄付者・支援者を対象とした「てらこや感謝祭」（活動報告会）の実施や、銀の鈴社と連携して「てらこやLIVE」（活動写真報告会）も実施。
- ・日 時 「鎌倉朝日」 月1回（毎月1日発行）
HP・Facebook運営 常時
鎌倉てらこやHP運営
鎌倉てらこや活動報告ブログ「てらのすけが行く」運営
「てらこや感謝祭」（活動報告会）3月17日
「てらこやLIVE」（活動写真報告会）3月28日～31日
- ・場 所 鎌倉市内各所・銀の鈴社ギャラリー・鎌倉大仏殿高德院 他
- ・従事者人員 124人（大学生：80人、大人24人）
- ・対象者 参加登録者・発起人・関係団体の方 およそ3,000人
- ・支 出 864,368円

カ 他団体協働事業（事業名称：「都会と田舎を結ぶ食育ネット」）

- ・内 容 学校、家庭、地域の連携のなかで子どもたちを育てる、という理念の実現に向けて、学校との連携（融合）を進めてゆく。つながりのある「食育ネット」と共同で事業を行い、鎌倉附属小学校との連携を深め

ていく。2019年度は、附属鎌倉小学校での畑事業の開催及び、建長寺での食育合宿を開催。

- ・日 時 ①7月7日 ②9月28日 ③10月20日 ④11月24日 ⑤1月11日
⑥2月23日～24日
- ・場 所 建長寺
- ・従事者人員 163人（大学生：142人、大人21人）
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生及び保護者
子ども：174人 大人：35人 合計209人
- ・支 出 0円

キ ネットワーク事業（事業名称：「てらこやネットワーク」）

し、地域ごとに参加者やスタッフ（学生・大人スタッフ・子ども）の交流を図り、各地域の特色を活かし、事業の相乗効果をねらう。

- ・活動内容
 - ・宮島てらこや合宿
 - ・会津てらこや事業
 - ・宮島てらこや秋合宿
 - ・てらこやちば逃走
 - ・てらネットアワード
 - ・軽井沢関東てらこやリーダーズ研修
 - ・全国てらこやネットワーク総会 他
- ・場 所 全国各他
- ・従事者人員 71人（学生55人・大人16人）
- ・対象者 てらこやネットワーク参加のJC・地域の協力者の方々
- ・支 出 142,650円

ク 人材育成事業

- ・内 容
 - 1. 新規大学生ボランティアの獲得のための新歓事業
 - 2. 学生理事の研修とチームビルディング事業
 - 3. 事業運営を担う学生の育成事業
 - 4. コアスタッフ間（大人・事務局・学生）の目的・目標の共有事業
- 子ども&新入大学生のオリエンテーションとなる「てらこや遊ビバ！」事業も実施。
- ・日 時
 - ・4～5月：新歓イベント（ピラまき、オリエン）の実施
 - ・隔月1回程度：「てらこや遊ビバ！」事業
 - ・8月：夏の大打ち上げ
 - ・随時てらこやフェスティバル（各事業の紹介・理念の確認等）
 - ・チームビルディング研修（年2回）
 - ・特別企画お出かけ出張てらこや（全4回）
- ・場 所 横浜国立大学、鎌倉女子大学、明治学院大学、鎌倉生涯学習センター 他
- ・従事者人員 515人（学生：506人・大人：9人）
- ・対象者 オリエンテーション：小学校1年生～中学校3年生 子ども：149人
- ・支 出 614,444円

ケ 渉外事業

- ・内 容
 - 1. 鎌倉を拠点とする地元企業へと協力を呼びかける発信事業

- 2. 行政連携を中心とした拡大事業
- 3. 地域の諸団体との連携事業
- ・日時
 - ・鎌倉こどもハチミツプロジェクトとの協働（月に一回程度）
 - ・鎌倉ひまわりの会・復興支援チャリティコンサートの協働（6月）
 - ・鎌倉青少年会館フェスティバルへの参加（7月）
 - ・大船まつり・大船仮装パレードへの参加（5月）
 - ・山ノ内町内会宵宮祭（7月）等各種お祭りへの参加
 - ・鎌倉高校生ボランティアの受け入れ（夏休み）
 - ・建長寺さんのお掃除のお手伝い
 - ・てらこやゼミの実施 他
- ・場所 鎌倉市内各所
- ・従事者人員 135人（学生：115人・大人：20人）
- ・対象者 鎌倉市内企業、鎌倉市内諸団体等
- ・支出 134,509円

コ 復興支援事業

- ・内容
 - ・避難所における子どもたちの遊びと学びのケア（会津てらこや）
 - ・被災遺児孤児を支援する「夢のつばさプロジェクト」への協力
以上を「全国てらこやネットワーク」と連携して実施
 - ・震災復興支援バザー
 - ・震災復興支援チャリティコンサート
- ・日時 会津てらこや（月に2回ずつ開催、年間24回）他
- ・場所 福島県会津若松市、鎌倉市内
- ・従事者人数 20名（学生16名、大人4名）
- ・対象者 福島県会津若松市内に在住している子ども：140人
- ・支出 0円

ケ 出向事業

- ・内容

鎌倉市の学童保育施設14か所（大船こども会館・山崎こども会館・富士塚こどもの家・梶原こども会館・関谷こどもの家・いまいずみこどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・七里ガ浜こどもの家・植木こどもの家・ふかふか及び、放課後かまくらっ子へ、大学生を派遣している。「てらこや」本体の事業から飛び出して、地域の中にも子どもたちや保護者と大学生という3世代が関わることによって生まれる「よき人との出会い」及び「感動体験」が育まれていく環境を作る。

また、子ども会館だけでなく、今泉小学校で実施されている稲村ガ崎小学校の「稲小らんらんスクール」にもボランティア参加。
- ・日時 2019年4月～2020年3月毎週各会館1回ずつ開催（全358回）
※新型コロナウイルスの影響で3月は活動自粛
- ・場所 大船こども会館・山崎こども会館・富士塚こどもの家・梶原こども会館・関谷こどもの家・いまいずみこどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・今泉小学校・植木こどもの家・稲村ガ崎小学校・ふかふか 他
- ・従事者人員 大学生スタッフ：1,756人
- ・対象者 各学童施設、大船（120人）・山崎（141人）・富士塚（42人）・梶原（20人）・

関谷 (46 人)・いまいずみ (93 人)・玉縄 (107 人)・小坂 (86 人)・
西鎌倉 (119 人)・第一 (129 人)・深沢 (109 人)・七里ガ浜 (33 人)・
ふかふか (15 人)・稲小らんらんスクールに通うに通う小学生 (30 人)

・支 出 3,319,950 円